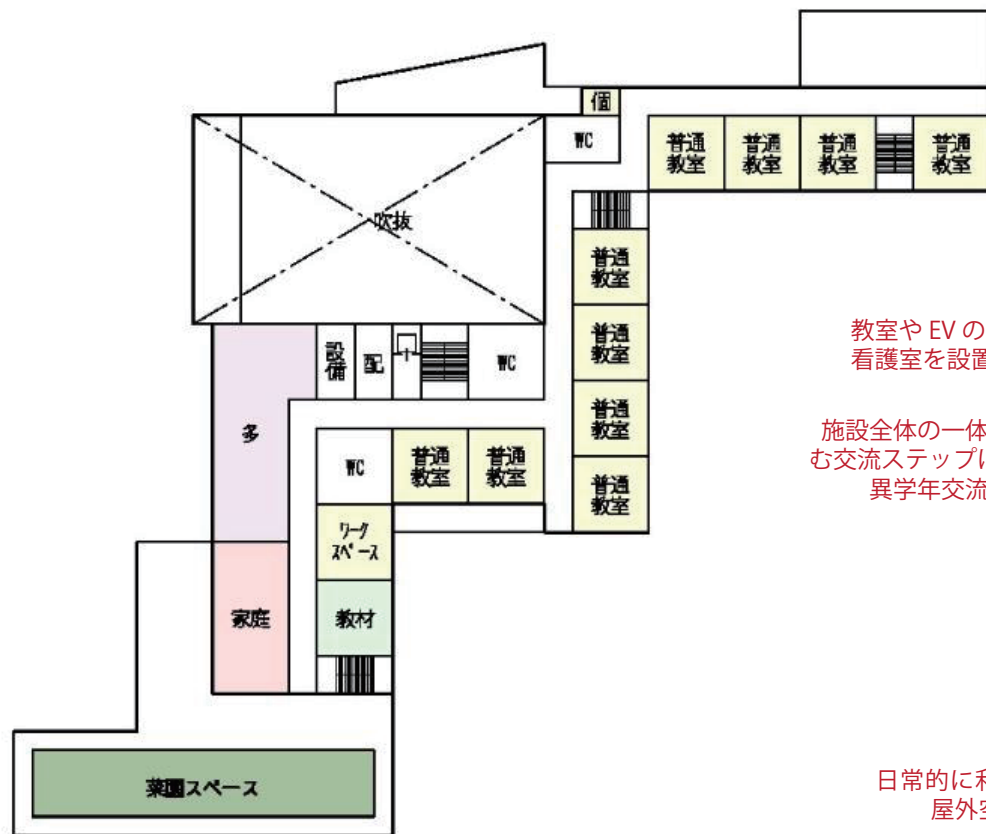


— 2 階平面図 —

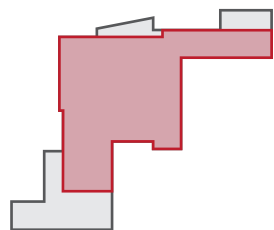


令和元年度 基本構想 (A-2 案)

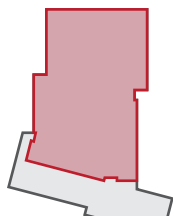


たたき台

- ・施設中央に大階段（交流ステップ）を設置、幼稚園から新 BOP、各学年を繋ぎ、施設としての一体感を醸成
- ・行き止まりの多い廊下形状の見直し、回遊性のある動線計画
- ・低学年の屋外活動の場（活動テラス）を計画、屋上を緑化し、「世田谷のみどりの生命線」を形成する崖線のみどりの繋がりを継承
- ・医療的ケア児受入に配慮し、教室の近くに看護室や EV を設置

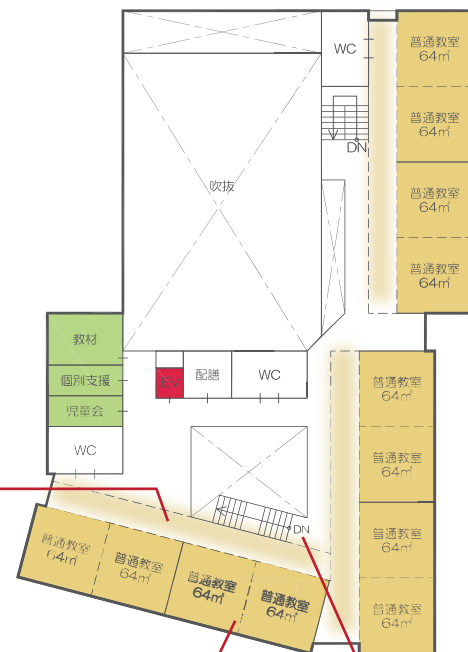
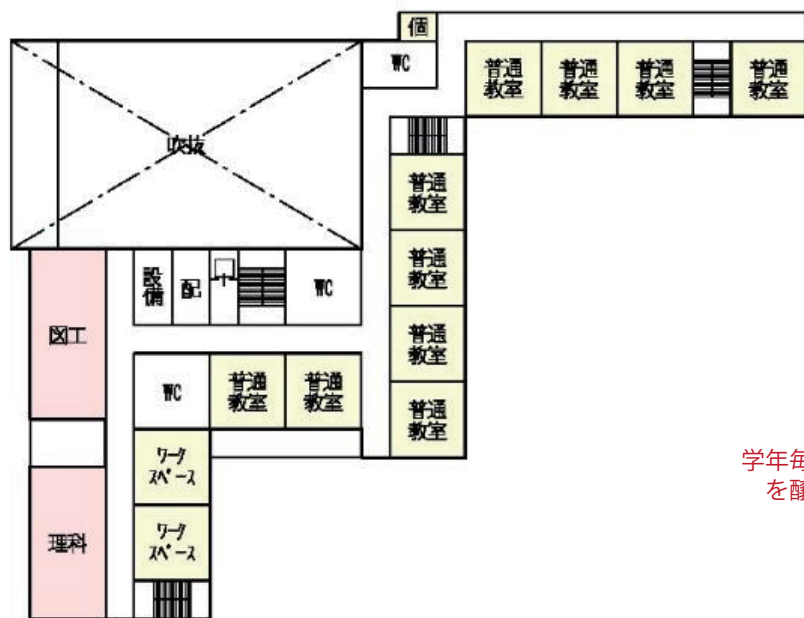


【基本構想】



【第1次案】

— 3 階平面図 —



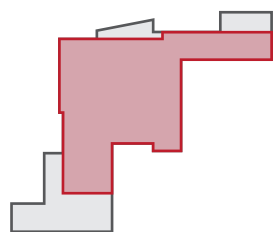
学年毎のコミュニティ形成
を醸成する学生ラウンジ

2室一体利用可能な教室により医療的
ケア児の受け入れに配慮するとともに、
様々な授業展開に対応

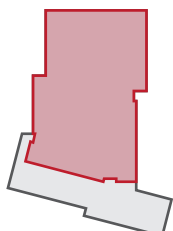
他学年の前を通過
しない動線計画

令和元年度 基本構想 (A-2 案)

■ キープラン



【基本構想】

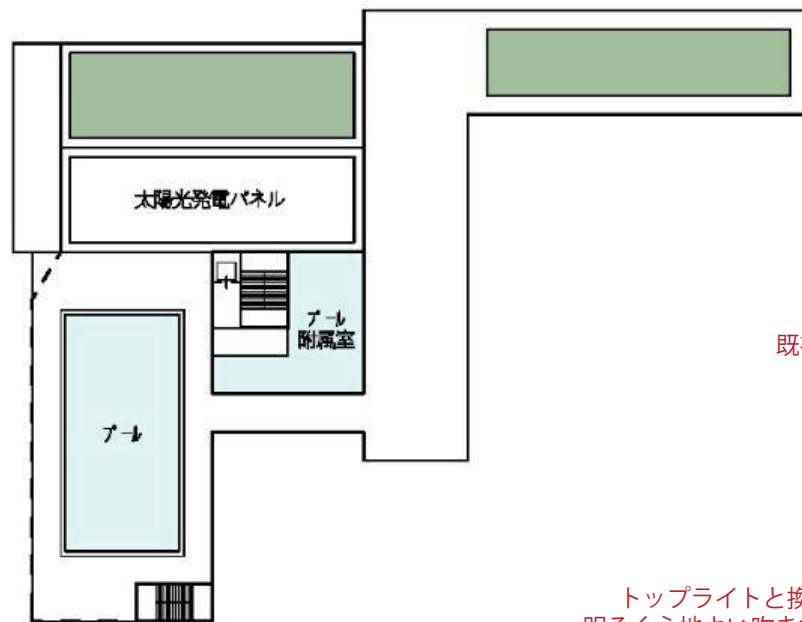


【第1次案】

たたき台

- ・ 普通教室前に学生ラウンジを計画し、学年のまとまり・
帰属集団としてのコミュニティ形成に配慮した教室配置
- ・ 他学年の前を通過することない動線計画
- ・ 吹抜けを介した異学年交流を創出
- ・ 西向き特別教室を取りやめ、熱負荷削減に配慮

—屋上階平面図—

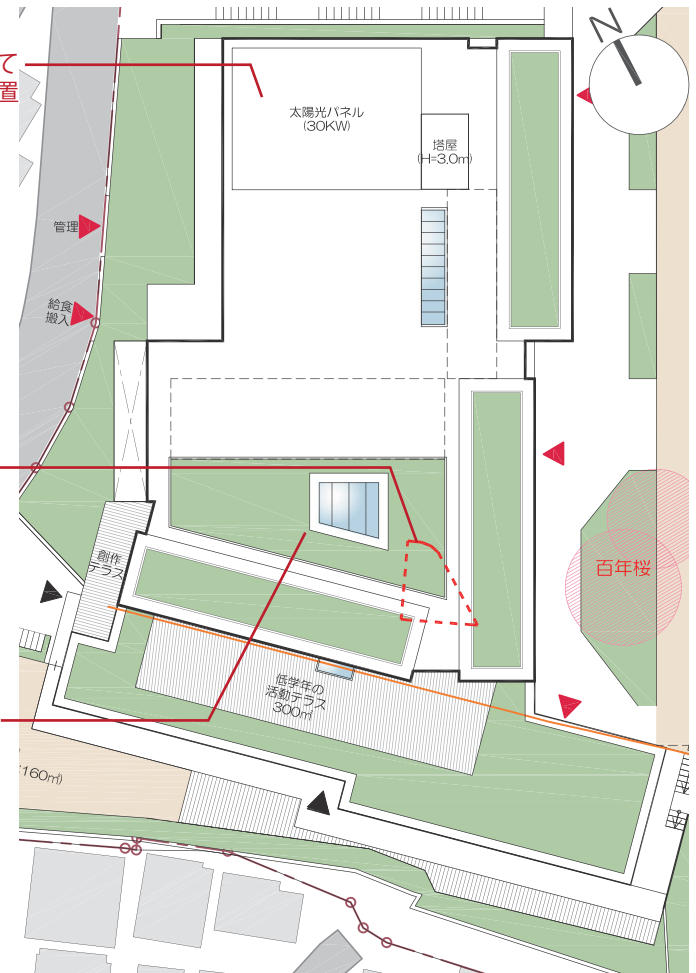


令和元年度 基本構想 (A-2 案)

ゼロエネルギー化に向けて
太陽光設備を設置

既存松の木位置

トップライトと換気口を計画し、
明るく心地よい吹き抜け空間を創出

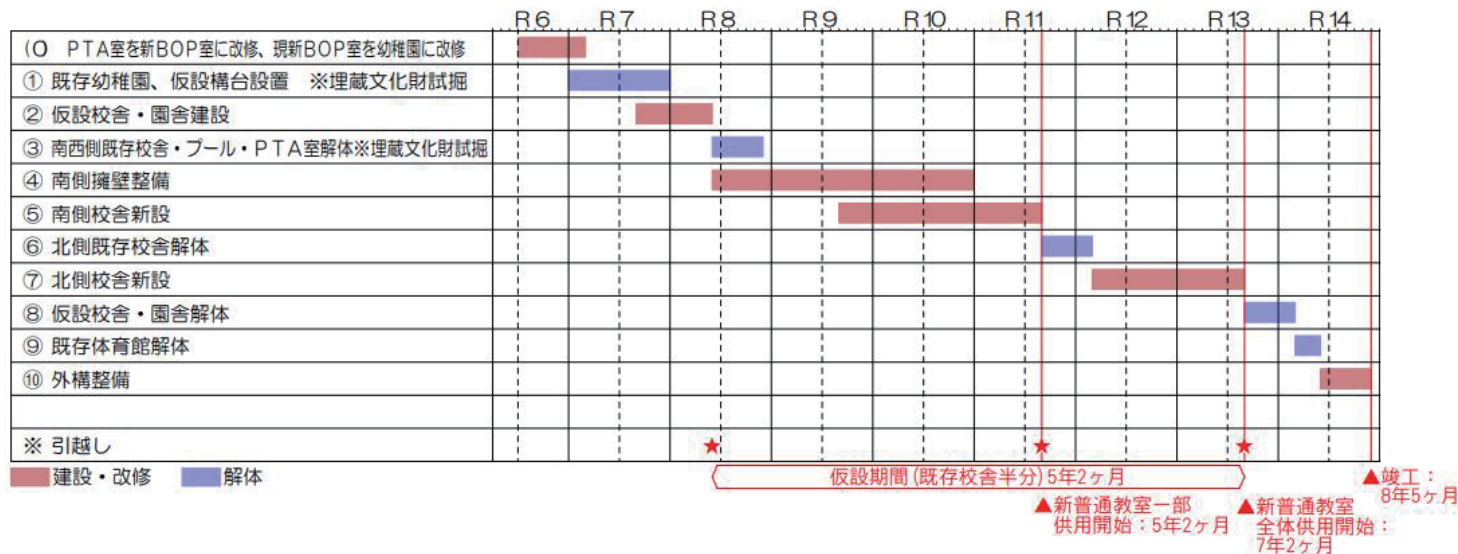


たたき台

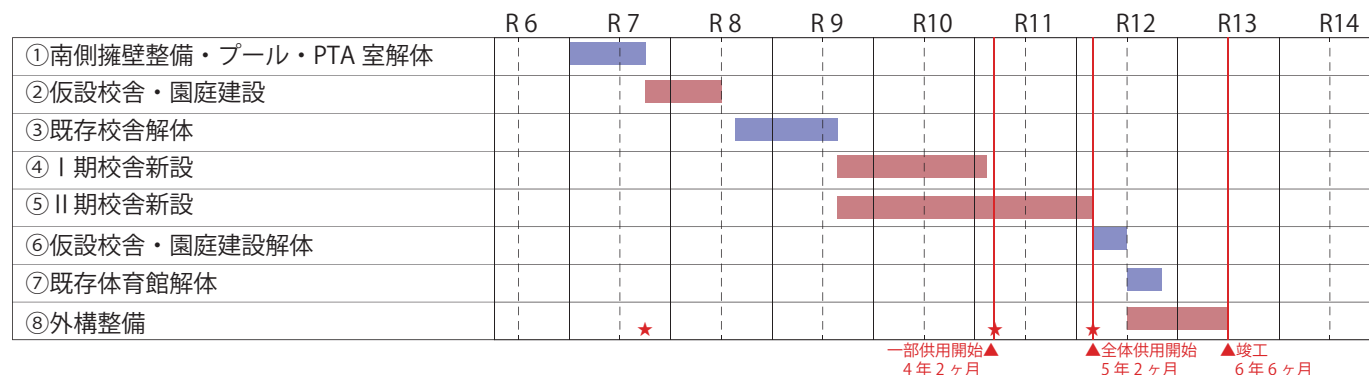
- 交流ステップのある内部の吹き抜け空間を「光と風の道」とし明るく心地よい環境とするため、屋上にトップライトと換気口を計画
- ゼロエネルギー化に向けて太陽光設備を設置

—工事工程表—

令和元年度 基本構想 (A-2 案)



たたき台



- ・ 工事車両動線を敷地西側からではなく、東の正門側からとすることで、全体工程を8年5カ月から6年6カ月に短縮し、近隣住民への影響や学校負担の軽減
- ・ 2期に分けていた校舎解体工事を1度に全て解体に変更し、引越し負担の軽減と工期の短縮
- ・ 工事中の給食を、自校調理から太子堂調理場からの運搬提供へ変更、その分教室数を確保し、児童数増に対応
- ・ 幼稚園と一部学校施設を先行利用することで、子供たちが仮設校舎で過ごす期間を短縮化 (今後要協議)
- ・ 新校舎を一部先行利用する分の仮設校舎を先行解体し、屋外活動スペースを確保 (今後要協議)